

「電子黒板」いよいよ始動



日建連も電子黒板の導入を待ち望む

日本建設業連合会
土木本部土木工事技術委員会
土木情報技術部会情報共有専門部会長

杉浦 伸哉 氏

電子黒板の導入目的は

「目的はデジカメなどの写真データに黒板を入れるという単純なものではない。1000枚近くの大量の工事写真を『いかに早く、楽に、正しく分類するか』であり『業務の効率化を図る』ことが最大の目的だ。電子黒板を活用した場合、従来方法に比べ撮影・整理に掛かる時間を4分の1程度に短縮できる。この時間を他の業務に充てることができれば時間を効率的に使える。これらは、若年層の入職促進や企業の利益確保、ひいては個人の生活環境の向上にもつながるだろう。今後、電子黒板が導入されれば写真を上手に活用し、業務を効率化するための自由な仕組みを作ることができるはずだ」

写真データ改ざん対策は

「元請けは協力会社から提出されたデータが改ざんされていないことを証明し、発注者に正しい写真を提出しなければならない。これが元請けの責任だ。この証明は国土交通省などの発注者、協力会社のどちらにとっても非常に重要なこと。改ざん防止の対策がしっかりできているということは、電子データの安全性にもつながり広範囲で使用されるというメリットがある。こういったことも業務の効率化に間違いなくつながるだろう」

日建連と国土省の今後の取り組みは

「写真管理基準などさまざまな基準が制定されているが、時代の流れに即した内容に随時、変えていく必要がある。例えば、近年のICTツールの成長はめざましい。日建連としてはこのように成長が著しい分野において、年に1回程度、国土省や関係機関と電子黒板の利用に関する意見交換会を開くなど利用者の生の声を聞き、基準改定への意見交換の場としたい。次のステップに移行する枠組みを作っていくことが大事。われわれの準備はすべて整っている。国土省で電子黒板の導入が始まれば、土木分野での電子黒板の利用は急速に進むだろう」



直轄工事でも使用が可能に

国土交通省が推進する「i-Construction」。建設生産システム全体の生産性向上を図り、魅力ある建設現場を目指す新しい取り組みで、建設業界の各分野でも先進的なICTの活用に向けて本格的に動き出している。工事における写真管理業務でも生産性向上に取り組みしており、そのソリューションの一つが電子黒板を電子化した「電子黒板」だ。国土省は、各地方整備局に対して2月1日以降に入札手続きを行う直轄工

電子黒板で業務時間の短縮を

電子黒板とは、カメラやタブレットに小黒板用アプリなどを組み込んだ工事黒板のこと。写真撮影時の黒板の待ち時間軽減や入力データ情報の自動整理などを可能にする。具体的には、撮影した写真を1週間ごとに整

蔵衛門Padで業務効率向上を

電子黒板を開発・販売しているルクレ（渋谷区）のソリューションが「蔵衛門Pad」だ。写真業務の省力化を実現する工事専用のタブレット型電子黒板で、最大の特長は、従来のデジカメによる業務と比べ作業時間を約4分の1に短縮できること。頑丈なボディでCALISに対応し、どのような状況でも一人で黒板入り写真が撮れる

NETISにも登録

蔵衛門Padは、今年1月17日に国土交通省が運営する新技術情報提供システム（NETIS、登録番号KTK1160024-A）に登録されている。時間短縮による省人化とコスト削減に加えて安全性、品質向上で評価されている。今後、国土省の直轄工事などでの活用が広がることを期待される。



工事写真業務がひとりひとりで全部できる!!



- 電子黒板 CALS H28.3 新基準に対応
- 台帳印刷 電子納品 工事写真管理

くらしもん★オンライン 購入相談・見積依頼
03-5468-5253
 電話受付時間：午前9時～午後6時半まで（土日祝を除く）

蔵衛門Pad 検索 株式会社ルクレ
 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-19
 東建インターナショナルビル 8F

「広告を見た」**一本無料**※
 で写真管理ソフト

※「蔵衛門Pad」1台の注文につきもれなく「蔵衛門御用達17スタンダード」を1本プレゼント！
 ※「くらしもん★オンライン」での購入のみの特典となります。
 キャンペーン期間：2017年2月6日から2月28日まで